

明治維新と福井の人物たち

学校 年 組

その時、福井の人物たちはどう考え、行動したか？



日本の国の中がバラバラのままでは、進出してくる欧米の国々の言いなりになってしまう。どうしたら日本を、欧米にも負けない、強くて豊かな国にしていけるのか？



松平春嶽の考えたことは、大きく3つに分けられます。



借金だらけの福井藩を立て直そう！

新しく産業をおこしたりして、豊かな国づくりをすすめ、どんな危機にも立ち向かえるようにしなければ。

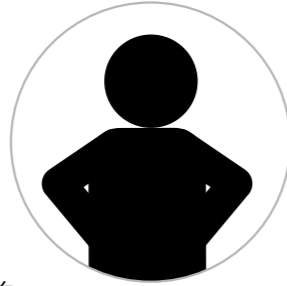
日本の国を、1つにまとめなければならない！

日本の中でいがみ合うことをやめ、早く1つの国としてまとめなければ外国に対抗できない。

西洋の進んだ考えをどんどん取り入れよう！

西洋の進んだ技術や知識を積極的に取り入れて、諸外国に対抗できる国をつくらなくては。

その考えを実現するために、春嶽はどんな人物にどんなことをまかせたのか？
→3人えらんで、それぞれどんな活躍をしたか、まとめよう



名前

名前

名前

《 》
・どんなことをしたか

《 》
・どんなことをしたか

《 》
・どんなことをしたか

その考えは実現することができたか？

後の時代にも活かされた
(実現できた)こと



後の時代にも活かされた
(実現できた)こと



後の時代にも活かされた
(実現できた)こと



活躍した福井ゆかりの人物たち



松平 春嶽

- 大きな借金(90万両=年間収入の約20倍)を抱えていた福井藩をたて直し、幕末の混乱にたちむかった。
- 「鎖国していた日本を開国し、すぐれたモノ・知識を積極的に取り入れよう」と主張した。
- 橋本左内・由利公正・横井小楠など、身分の高くない家臣や福井藩以外の人物を活躍させた。
- 日本が戦乱状態にならずに、平和的に新しい国の仕組みがつくっていけるよう努力をつづけた。



橋本 左内

- 15歳で『啓発録』という、生きていくうえでの心構えを記した文をつくり、後の時代にも影響を与えた。
- 「すぐれた将軍の下で、日本全国が1つにならなければならない」と主張し、それが福井藩全体の意見にもなった。
- 上の意見を実現するため、賛成する人を増やそうと様々な人物と話し合うなど活躍したが、反対する勢力に危険人物と見なされ、捕まって処刑されてしまった。



由利 公正

- 藩札(福井藩が発行した紙のお金)を発行して福井特産品の生糸や茶・麻・醤油などの生産をすすめ、福井藩の借金を減らすことに力を尽くした。
- また、明治新政府ができた頃の頃、福井藩での経験をもとに、現在も使われているような、全国で使える紙のお金(紙幣)をつくり、日本の経済のしくみの土台をつくらうとした。
- 明治新政府の政治の基本となった「五箇条の御誓文」をつくる作業にも加わった。



笠原 白翁

- 天然痘という伝染病は漢方医学では全く予防・治療ができなかったが、予防には種痘(予防接種)が有効だと知り、ワクチンを外国から輸入することを松平春嶽に願い出た。
- 藩から許可をもらった白翁は、福井でも種痘を行うことをめざし、生きたままのワクチンを福井へ運ぶために、ワクチンを植えつけた子供をつれて、真冬の栃木峠(南越前町今庄と滋賀県 余呉町の境目)を決死の思いで越えた。
- 福井で「除痘館」という種痘のための施設をつくり、種痘を広めた。ここから各地に種痘が広がり、人々を天然痘の恐怖から救うことができた。



図書館でもっと詳しく調べてみよう！

- ・「橋本左内って知ってるかい？」
福井市立郷土歴史博物館 2008年発行
- ・「若越山脈」第1集・第3集
青少年育成福井県民会議編
- ・「ふるさと福井の人々」
福井市教育委員会 1997年発行
- ・「学習まんが少年少女日本の歴史」
第16巻 小学館 2004年発行

そのほかにもいる！活躍した福井ゆかりの人物「横井小楠」「日下部太郎」「WE.グリフィス」についても調べてみよう！